

喜多方市商業振興ビジョン改定（案）の概要

【目 的】本ビジョンは本市商業の目指す姿とその実現に向けた具体的な取り組みを示すものとして2019（令和元）年度に策定しましたが、商業を取り巻く社会経済情勢等の変化へ対応し、地域経済の活性化とさらなる発展を目指すため、改定を行います。

【視 点】新型コロナウイルス感染症の影響、エネルギー価格や原材料価格の高騰の長期化、事業主の高齢化や人口減少に伴う人手不足、外国人観光客の増加など、商業を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。今後も、本市商業の活性化に向けては、時代の潮流と市の将来像に合致した実現性の高い商業振興施策が求められており、それらへの対応に重点を置きました。

第 1 章 商業振興ビジョンの改定にあたって

- ビジョンの位置付け 喜多方市総合計画の部門別計画
- 計画期間 2025（令和7）年度～2029（令和11）年度までの5年間

第 2 章 喜多方市商業の現状と課題

● 喜多方市商業の現状

統計データから見た現状（主なもの）

- ・生産年齢人口率は減少を続け、高齢化率は増加を続けている
- ・小売業及び卸売業の事業所数、従業員数はともに減少傾向
- ・食料品は9割、衣料品や家電製品は3割強が地元から購入されている

アンケート調査から見た現状（主なもの）

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| （1）市民アンケート | （2）事業者アンケート |
| ・一か所で買い物が済み、駐車場がある店舗を選んでいる | ・高齢化が進行している一方で、後継者が決まっていない事業所が多い |
| ・個人商店や商店街は接客や専門性の面で好評価 | ・売上については回復傾向にあるもののコロナ前の水準には至っていない |

本市商業のプラス要因とマイナス要因（主なもの）

本市商業のプラス要因	本市商業のマイナス要因
・接客、サービスの良さ ・専門性のある個店 ・観光都市としての消費の流入 ・デマンド交通の利便性向上 など	・人手不足 ・少子高齢化 ・駐車場不足 ・キャッシュレスへの対応 など
・創業の活性化 ・豊富な地域資源	・後継者不足 ・空き店舗の増加 ・物価高騰等による経費の増加

● 前回ビジョンの検証

- ・コロナ禍にあっても、起業・創業件数や空き店舗の利活用件数は上昇が見られた
- ・まちなか活性化イベントや各種支援事業等に取り組んできたが、地域経済の活性化とさらなる発展を目指すためにも、前回ビジョンの課題の多くは引き続き対応すべきものである

● 喜多方市商業の課題

統計データ及びアンケート結果等を基に、本市商業の課題を以下の7点に整理しました。

- ア 後継者不足への対応
- イ 個店の魅力向上による集客力の強化
- ウ 個店の経営力強化
- エ 商店街等の活性化、事業者間・組織などの連携強化
- オ 地域資源、喜多方ブランドを生かした観光消費の拡大
- カ 少子高齢化社会への対応
- キ ネットワーク社会におけるニーズへの対応

第 3 章 商業振興ビジョンの方向性

本市商業の活性化と発展へ向けた3つの基本方針を定め、上記で整理した課題への対応を重点項目として、実現性の高い各施策取り組みを推進します。

● 喜多方市商業の基本目標（目指す姿）【変更なし】

豊かな暮らしを支え 多様な交流を育む あきないのまち喜多方
～ ひと・地域の個性を生かした 活気あるまちづくり ～

● 基本目標（目指す姿）の実現に向けた基本方針と具体的取り組み

基本方針 1	魅力ある商店づくりによる消費の促進
【施策：1－（1）】 魅力的な個店の維持、創出	具体的取り組み ①個店の魅力を高める「経営力向上」の実施 ②「おもてなしの心」による個店ならではの魅力の向上
【施策：1－（2）】 後継者確保・事業承継のための支援	具体的取り組み ①事業承継に対する支援【重点】【拡充】 ②次世代に向けた市内商業への関心を高めるための体験イベントの実施
【施策：1－（3）】 経営力の強化による新たな活力の創出	具体的取り組み ①経営者の意識改革と資質向上のための支援【重点】 ②関係団体の連携による創業支援とフォローアップ ③制度資金融資、利子や信用保証料の助成
【施策：1－（4）】 市内消費及び消費流入の促進・消費流出の抑制	具体的取り組み ①付加価値のある商品・サービスの提供【重点】 ②購買意欲やリピート率を高める仕組みづくり ③中心市街地等における駐車場等の確保

基本方針 2	街なかの賑わい創出
【施策：2－（1）】 賑わいの創出による商店街の活性化	具体的取り組み ①商店街・商工団体・市等が連携した地域活性化イベント等の実施【重点】
【施策：2－（2）】 空き店舗の有効活用の推進	具体的取り組み ①空き店舗利活用に対する支援【重点】
【施策：2－（3）】 商店街の景観整備とコミュニティ機能の向上	具体的取り組み ①特色や一体感のある商店街づくりの推進 ②コミュニティ機能を有する施設の活用による地域活性化の推進

基本方針 3	商業を活性化するための連携体制の強化
【施策：3－（1）】 関係団体の連携強化	具体的取り組み ①商工団体等と市の連携体制の強化 ②商店街間における交流や大型店との連携の実施 ③教育機関との連携による商業振興の推進
【施策：3－（2）】 少子高齢化社会への対応	具体的取り組み ①買い物弱者への連携した対応【重点】 ②若者の市内定着の促進【重点】
【施策：3－（3）】 ネットワーク社会に対応した商業活動の推進	具体的取り組み ①ショッピングサイトの充実やホームページ開設等による店舗情報の発信 ②観光客の受入体制の整備による消費機会の拡大【重点】【拡充】
【施策：3－（4）】 観光や農商工との積極的な連携等による地域資源の消費促進	具体的取り組み ①ブランド力を生かした地域資源の発信による消費の促進【重点】 ②農商工連携による地域資源を生かした新商品開発 ③伝統文化や地域産業の振興 ④グリーン・ツーリズムや教育旅行の受入れ促進

● 指標及び目標値

ビジョンの施策の成果を客観的に測るため、8つの指標に目標値を設定します。
→別表のとおり（裏面）

第 4 章 商業振興ビジョンの推進体制と進行管理

● 推進体制

市、商工団体、金融機関、事業者、市民・企業などが目標を共有し、それぞれの役割を果たすとともに、相互に協力・連携しあいながら進めてまいります。

● 進行管理

PDCAサイクルの手法により、各種事業の点検時や総合計画の評価と一体的に進めてまいります。

【別表】指標及び目標値

指標 番号	指標名	直近の値 (R5)	目標値 (R11)	出典
1	卸売業・小売業の事業所数	520事業所	476事業所	経済センサス 活動調査
2	卸売業・小売業の売上額	649億2200万円	647億2723万円	
3	飲食業・宿泊業の事業所数	262事業所	240事業所	
4	飲食業・宿泊業の売上額	45億800万円	44億9448万円	
5	起業・創業件数（累計）	144件	204件	総合戦略
6	空き店舗活用数（累計）	45件	75件	—
7	地元（会津地域）就職率	63%	80%	総合計画
8	観光客入込数	156万人	203万人	総合戦略